

華埠觀察展 2025

華人唐人街博物館

2025.12.5 ~ 2025.12.22

橫濱市歴史記念館
地下展示室

神奈川大学非文字資料研究センター主催

白家明 (研究者・建築家)

日本で最も知られるチャイナタウン、「横浜中華街」。そこは開港したばかりの横浜に、様々な事情で故国を離れた華僑たちが住みつくことで生まれ、住み続けることで生き続けている街である。そこは、一方では故郷の文化（言語、生活様式、慣習、あるいは宗教）を頑なに保ちつつも、他方では時代ごとに揺れ動く社会情勢や国際関係の中で、柔軟に立ち回りながら変貌し続けることで、今日ある姿を迎えている。

中華街に現存する建築物は、ほぼ全てが戦後に建設されたものであり、その意匠や構造には観光地として生まれ変わった後の影響が色濃く表れている。一方で、街を形づくる街路や地形は戦前から受け継がれ、建築内部の「しつらえ」にも、数世代に渡って伝承されてきた文化が反映されている。今日の中華街の空間を見つめ、その変遷を辿ることは、歴史学や民俗学の分野のみならず、建築学や都市学の見地においても有意義な営みであろう。

本企画展は、建築の設計者・研究者として活動する白家明（はくじやみん）が、東京藝術大学大学院の修了制作として二〇二三年に開始した街並みのフィールドワークを基盤としている。白は中華街を歩きながらそこに現存する様々な店舗や施設、路地を観察し、スケッチ図面として記録することで、街に潜む空間構造や人々の生活の解明を試みた。

会場では白によるスケッチや模型に加え、中華街のアフタースクール「塾・寺子屋」に所蔵されている街の歴史資料の一部も紹介する。展示を通して、街に根ざした文化施設のあり方や、今日以降の中華街の変化について、ともに考える機会となれば幸いである。

〈白家明 二〇二五年九月〉

2025.12.5 [金] ~ 2025.12.22 [月]

華埠2025 観察録

横浜中華街をデザインサーヴェイする。



作家情報

白 家明（研究者、建築家）

中国・大連生まれ、横浜育ち。横浜山手中華学校61期生
東京藝術大学美術学部建築科卒業、同大学院修了
美術学修士

ミニ講演会

「中華街の今昔を語る（仮）」

12月6日 [土] 15:00 ~ 16:00

聞き手：白 家明

ゲスト：符 順和（塾・寺子屋 代表）

「横浜中華街の歴史資料館や博物館の設置について（仮）」

12月20日 [土] 15:00 ~ 16:00

聞き手：白 家明

ゲスト：内田 青蔵（神奈川大学建築学部建築学科 教授）

[主催]

神奈川大学非文字資料研究センター

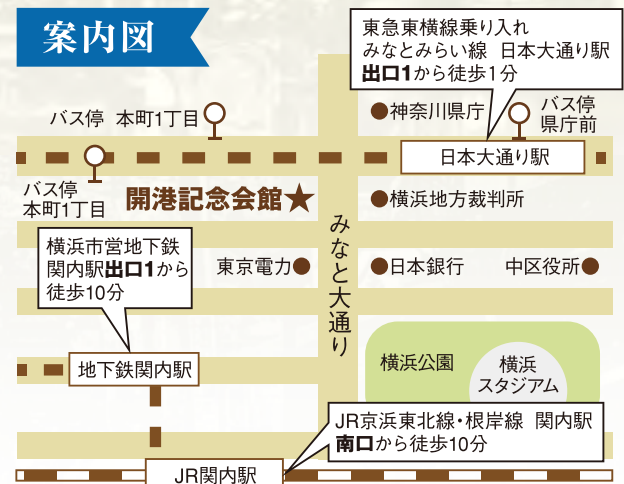
[共催]

横浜市開港記念会館

[協力]

塾・寺子屋

案内図



横浜市開港記念会館 地下展示室
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1-8

開室時間 10:00 ~ 17:00 観覧無料
※12月10日(水)休館



神奈川大学



非文字資料研究センター

